

# Рахмат & Спасибо

～ありがとう～ 国語キルギス語「ラフマツト」と公用語ロシア語「スパシーバ」



皆さん、こんにちは。 Саламатсыздарбы! (キルギス語)  
Здравствуйтесь! (ロシア語)

暑い夏がやって来ました。ステイ先、学校、バス、タクシーには扇風機もクーラーもありません。水事情が悪く断水が多いため、入浴や洗髪は1週間に1度です。急な断水に備えてペットボトルに何本も水を溜めており、普段は濡れタオルで身体を拭いてしのいでいます。バザールにはスイカ、トマト、メロン、ブドウなど新鮮な野菜や果物、リピョーシカと呼ばれる円形パン、ドライフルーツや干し魚が並んでいます。

今回は5月～7月の出来事及び活動の様子を紹介します。



## < 戦勝記念日(5月9日) >

第二次世界大戦の勝利を記念する祝日です。各地で祝賀行事が開かれました。あいにくの土砂降りでしたがケミン町内の公園でも戦後71年の式典が開催されました。献花、パレード、戦史に関する劇や朗読、反戦歌の合唱等、子ども達を中心に若い世代へ平和の大切さを訴えました。



「子ども達は戦争に反対だ！」

## < 卒業式・終業式(5月27日) >

9年生及び11年生の卒業式、優秀生徒の表彰、終業式がありました。天候不良のため体育館での実施となりましたが、保護者や地域の人たちが大勢詰めかけ盛大に開催されました。祝賀たすきを掛けてもらった卒業生は恩師や保護者に感謝の言葉を述べました。6～7月に入試を受け、多くは首都ビシュケクや他都市へ進学予定です。女子生徒については、家事の手伝いをしたり結婚したりする場合もあるようです。



昨年7月にキルギスへ赴任し1年が経ちました。私の活動任期は来年3月下旬までです。生活や文化の違い、活動言語であるロシア語に苦労しながらも、先生方や生徒たち、家族や地域の人々に支えられ、充実した毎日を過ごしています。後半もより良い活動ができるよう頑張ります。



### <学ぶ気持ちさえあれば！>

本校のような地方の小規模公立校は、予算の逼迫やインフラ整備の遅れで学習環境は決して恵まれているとは言えません。今ではすっかり慣れましたが、着任当初は日本との大きなギャップに困惑する日々でした。驚きの例をいくつか挙げてみます。

#### ①トイレが！？(写真はドアのある教員用です)

排水設備の未整備で校舎内にトイレはありません。雨の日も雪の日も校庭の隅にあるトイレへ行くしかありません。地面に穴を掘って作られたトイレにはもちろんペーパーも手洗い場もなく、生徒用はドアさえありません。



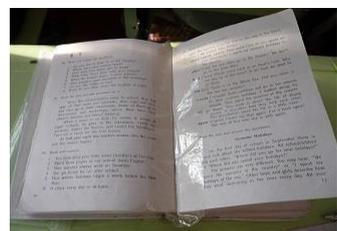
#### ②電気が！？

予算不足のため教室内の電気は半分以上消えています。日の出の遅い冬の時期や天気の悪い日には室内は薄暗く、黒板の字もはっきり見えません。そんな日は机を移動させて窓際で授業をします。



#### ③教科書が！？

教科書は貸与制です。学年初めに図書室から搬出し学年末に返却します。冊数不足のため2~3人で一冊の教科書を使用します。古くて痛みも進んでおりテープで補修しながら大切に使っています。



#### ④チョークもコピーも！？

チョークも模造紙も本校にはありません。教員が文具店で自費購入します。校内にたった1台のコピー機はたいてい故障中です。どうしてもコピーが必要な場合はバスに乗ってコピー店へ行き有料コピーを利用するしかありません。



#### ⑤校庭に！？

校庭は地域の憩いの場です。授業中でも老若男女がやって来て長時間談笑しています。野犬が走り回ったり羊の群れが草を食べていたり馬が鉄棒に繋がれていることもあります。



#### ⑥教室が！？

予告なしに校舎が施錠されてしまうこともあります。教室に入れず諦めて帰ろうとすると、生徒が「じゃ外で勉強しよう」と一声。急きょ青空教室になりました。

日本のような環境はここにはありません。しかし、学ぶ気持ちさえあればどこにいても勉強はできるのかもしれない。そういう大切なことをキルギスの子ども達から教わる毎日です。

